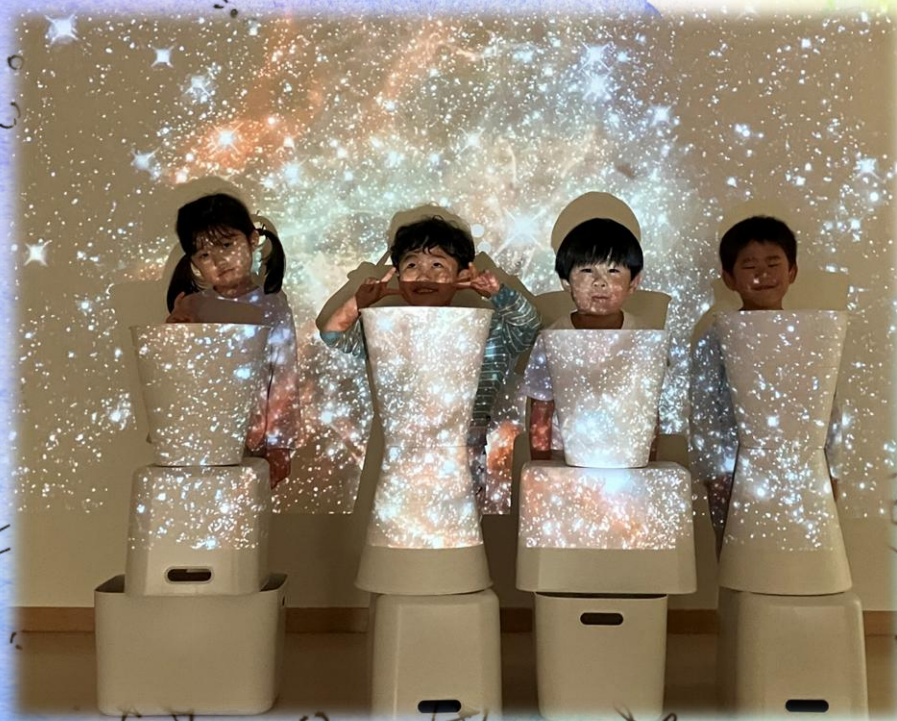


「光」

宇宙に興味を持つ子が
多くいた為、光や影などの探求に
繋がると思いテーマの一つとした



子どもの姿

- ・屋内の活動で、マグブロックを城に見立てて作り、それに懐中電灯の光を当て、前後しながら、影の大きさの違いを楽しんでいた。
- ・2人がそれぞれ懐中電灯を持ち、一つの物に光を当てていると、その影が2つ作りだされており、2人で興奮していた。(3歳児) その件があったので、5歳児が光を当てている所に保育士が違う角度から当てて、「影が2個になったね。」と話しかけると、「これは、こっちから当てたらこっちに影ができるけど、こっちのは、先生の影ができるんだよ」と説明していた。



8月、11月、2月、3月の計4回行った。
光を通す素材(クリア積み木、スケルトンパネル、)や反射する物(シルバー玩具、鏡など)を使用した。屋内では、暗幕やテントを使用し、懐中電灯のあかりやライトパネルのあかりが際立つようにし、屋外では、太陽の光の反射がより分かるように、人工芝の上に白いシートや布を敷いた。



継続的に行った事で、
初めに行った時よりもじっくりと
取り組む姿が多く見られた。また、
子ども同士のやり取りで、自然に「かし
て」や「一緒にやろう」という声が増え、
トラブルが減っていた。保育士が設定
しておいた物から自分で考えて、
作り出し、保育士に「見て」と言う姿
から、友達に気付いてもらい、
一緒に取り組む姿が
多くなっていた。

